



社協だより

出水市

第35号

平成28年10月13日発行

編集・発行／社会福祉法人出水市社会福祉協議会
☎0996-63-2140

出水市平和町97番地（出水市社会福祉会館）
URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/1735/>



『赤い羽根共同募金 街頭募金』 ご協力ありがとうございました。

本年も10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金運動」が行われます。

市民のみなさまの善意で集められた募金は、県共同募金会に全額送金されたのち、県内及び出水市の福祉施設や福祉団体などに配分され、地域福祉の向上に役立てられます。街頭募金をはじめ、募金運動にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※前年度の募金実績等につきましては、2、3ページをご覧ください。

目次

- ◇赤い羽根共同募金運動・配分金事業の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・P2～3
- ◇在宅福祉アドバイザー及びネットワーク代表者合同研修会、
出水市地区防災訓練、赤十字奉仕団 わんぱくトライアルに参加・・・・・・・・P4
- ◇まかせて会員養成講座、ファミリーサポートセンターの紹介、
子育てサロン予定（10～12月）・・・・・・・・・・・・・・・・P5
- ◇支え合いマップづくり、熊本地震義援金お礼、実習生・・・・・・・・P6

赤い羽根共同募金運動にご協力お願いします!

共同募金の歩み

共同募金は、戦後直後に市民を主体とした民間の運動としてスタートしました。

当初は、戦後復興の一助として戦災孤児や生活困窮者の援護に使われてきましたが、時代を経て、経済状況も変化する中、生活困窮者の救済から住民参加の地域福祉・在宅福祉を目指すものへと変わりました。

「誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」のために、たくさんの方々の助け合いの精神に支えられています。

赤い羽根共同募金は、「**じぶんの町を良くするしくみ**」
(循環型の募金です)。



©L5/YWP・TX



本年度目標額 **11,080,000 円**

平成26年度みなさまにご協力いただきました共同募金は10,981,062円でした。この募金に基づき平成27年度は、7,541,000円が鹿児島県共同募金会から共同募金会出水市支会へ配分され、市内の様々な福祉活動に役立てられました。残りの募金は、鹿児島県共同募金会において、県内の様々な福祉活動を行う団体等に配分されました。

地域福祉活動 (3,755,536円)

(内訳) 老人クラブへ助成	410,000円	民生委員児童委員協議会へ助成	180,000円
ボランティア活動連絡会へ助成	40,000円	更生保護女性会へ助成	30,000円
行路困窮者旅費配分事業	6,780円	移動式ベンチ設置事業	272,484円
貸出用物品整備事業	214,616円	地域福祉活動助成事業	2,196,032円
ボランティア活動保険助成事業	195,328円	命のカプセル事業	20,000円
災害見舞金として	189,000円	振込手数料	1,296円

障害者福祉活動として (180,178円)

(内訳) たんぽぽ料理教室	70,178円	聴覚障害者協会へ助成	30,000円
手をつなぐ育成会へ助成	80,000円		

児童・母子寡婦福祉活動 (2,024,464円)

(内訳) 母子寡婦福祉会へ助成	30,000円	ボランティア体験学習	356,322円
交通遺児援助事業	30,324円	ボランティア協力校へ助成	1,110,000円
子育てサロン事業	497,818円		

高齢者福祉活動 (1,261,029円)

(内訳) いきいきサロン事業	1,040,000円	ますらお料理教室	88,182円
いきいき支援事業	55,450円	介護食の料理教室	77,397円

社会福祉イベントとして (319,793円)

(内訳) ボランティアフェスタ	319,793円		
-----------------	----------	--	--

平成27年度に実施された共同募金配分金事業の紹介

平成26年度にみなさまから寄せられた赤い羽根共同募金を財源に、平成27年度に助成を受けて、さまざまな地域福祉活動・事業に取り組みました。活動の一部を紹介します。



★ボランティア体験学習

福祉施設等において、車いす操作、シーツ交換、利用者の介助、配膳、清掃、演芸披露や、ふれあい交流などをしました。



★地域福祉活動助成事業

地域福祉活動に取り組む団体やボランティアグループを応援するため「公募」により活動資金を助成しました。(写真は、原自治会の低座いす購入)



★ふれあいいいきサロン事業

楽しく気軽に誰とでも参加できる「つどいの場」として活用されています。

(写真は、八幡(出水)サロンの様子)



★ボランティアフェスタ

社会教育・福祉に貢献された方々の表彰や、記念講演、活動体験発表、交流演芸発表、福祉バザー、体験コーナーなどがあり、多くの方でにぎわいました。



★介護食の料理教室

高齢者の食べ方の変化や調理のポイント、介護者の負担軽減を図りつつも、食べることが楽しくなる介護食について学びながら、毎回いろいろな料理を作りました。



★移動式ベンチ設置事業

市民の皆様の憩いの場に活用していただくため、ベンチ設置を行っています。

共同募金は、住民相互の支えあい活動です。
寄せられた募金は、地域福祉のために・・・

平成二十八年度 在宅福祉アドバイザー及び
小地域福祉ネットワーク代表者合同研修会開催

七月二十五日・二十六日に出水市社会福祉会館、二十七日に高尾野老人福祉センター及び野田老人福祉センターで在宅福祉アドバイザー及び小地域福祉ネットワーク代表者合同研修会を開催し、二百二十二名の方が参加されました。

今年度は野添自治会の在宅福祉アドバイザー安部庸二氏に「サロン活動から見守りまで」と題し、サロン活動の内容や、ネットワーク事業への取り組み



安部庸二氏 事例発表



予防教室の運動として「あいうえお体操」をやってみました。

みについて事例発表をしていただいた後、出水市地域包括支援センター職員の方から介護予防教室の目的及び内容についての説明がありました。

小地域福祉ネットワークとは？

一人暮らしのお年寄りや、お年寄り夫婦だけの世帯、生活困難な心身の不自由な方々などを地域住民の協力により見守り・支え合う活動です。

出水市地区防災訓練

八月二十八日、今年度は出水市西出水運動公園で実施された出水市地区防災訓練に出水市赤十字奉仕団とともに参加しました。

今年度の訓練は、四月に発生した熊本地震災害を受け、地震災害を想定した訓練を中心に多発する災害に備えた様々な訓練が実施されました。そうした訓練種目の中のひとつとして、西出水校区の自治会の皆さんのご協力のもと、ボランティア受付訓練と出水市赤十字奉仕団による非常炊き出し訓練を行い、約三〇〇食の炊き出しご飯を訓練に参加された方に配布しました。



ボランティア受付訓練の様子

赤十字奉仕団 青年の家
わんぱくトライアルに参加

八月三日～五日にかけて出水市青年の家で行われた「わんぱくトライアル」に出水市赤十字奉仕団も参加しました。

同奉仕団は、わんぱくトライアル二日目の八月四日に、非常用の炊き出しごはんに参加した小中学生やボランティアの高校生とともに作りました。通常の白ご飯とは別に、水の代わりにジュースやコーヒーなどを使ったごはんも作り試食しました。

今回イベントに参加した小中学生や高校生ボランティアの皆さんと炊き出しを通してよい交流ができました。



※日本赤十字社出水市地区では赤十字奉仕団員として一緒に活動をしていただける方を随時募集しております。

出水市ファミリーサポートセンター

まかせて会員養成講座が開催されました

地域の育児サポートいたします！

六月二十五日、高尾野老人福祉センターにて、地域で子育てのお手伝いをする「まかせて会員」の養成講座が開催されました。この講座は、子育てサポートを行うための基礎的な知識・技能の習得を目的とし、熱意あるボランティアや主婦など十七名が参加されました。参加者は、ファミリーサポート制度の概要や幼児救急法、レクリエーション、子どもの発達などを学び、在宅で幼児や児童の一時保育や保育所への送り迎えなどを行うためのリスクや心構えを再確認しました。



救急法講習



「幼児の遊び」指導



「子どもとの接し方・親との接し方」について

NPO法人メンタルヘルスケア 鹿児島代表理事平川氏による「子どもとの接し方・親との接し方」では、子育てに不安を持った親などには共感する存在になること、社会全体で子育てする視点を持つことなど、これからの社会のあり方についても学んでいました。修了された皆さんは、今後、出水市ファミリーサポートセンター「まかせて会員」として皆様のもとへ駆けつけ、地域の頼れるサポーターとして活躍することが期待されます。

「出水市ファミリーサポートセンター」会員募集中！！

たとえば、こんなときにお困りではありませんか？

- ・急な用事～保育所に送って行けない、迎えに行けない。
- ・行事があって～上の子の参観日・親子遠足の時、下の子の世話をしてほしい。
- ・子どもが風邪気味～学校を休ませたいけど・・・
- ・リフレッシュ～美容院に行きたいけど・・・



◆利用料金 ◎入会金・年会費 無料

月曜日～金曜日 7:00～19:00 (祝日及び12/29～1/3を除く)	一般	1時間あたり 600円
	軽度の病児	1時間あたり 700円
上記以外の土曜・日曜・祝日	一般	1時間あたり 700円

連絡先は
こちら⇒

たかおの交流館 (出水市高尾野町大久保 3719-1) 担当：山元、慶越
TEL 0996-64-2423 FAX 0996-64-2667

子育てサロンにいらっしやいませんか？

お知らせ

参加料 100円

平成28年 10月・11月・12月の
子育てサロン予定

(午前10時～11時30分まで)

野田支所(ハッピー☆スマイル)

☎0996-84-2066

たかおの交流館(ビバ☆スマイル)

☎0996-64-2423

ハッピー☆スマイル 野田

- 10月18日(火) ▶おしゃべりタイム
- 11月1日(火) ▶幼稚園との交流
- 11月15日(火) ▶母子相談と乳児測定
- 12月6日(火) ▶森のクッキング講座
- 12月20日(火) ▶こどもの森(※1)

ビバ☆スマイル 高尾野

- 10月26日(火) ▶ハロウィン
- 11月9日(火) ▶宝物交換会
- 11月23日(火) ▶祝日休み
- 12月14日(火) ▶ベビーマッサージ
- 12月28日(火) ▶年末休み

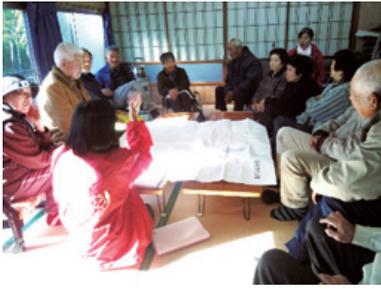
※1 こどもの森は、会場が野田女子高校になります。直接お越し下さい。

※材料費や道具が必要な場合があります。開催場所や詳しい内容についてはお問合せ下さい。

出水市支え合いマップづくり

～住み良い地域づくりをめざして～

介護保険制度の改正により、新介護予防・日常生活支援総合事業が始まりますが、今後は地域における孤独・孤立の課題や日常生活上の支援を必要とする住民への支援が不可欠であり、公的制度に加えて住民同士の「互助」活動が重要になってきます。住民主体に地域福祉を推進する上で有効な手段である「支え合いマップづくり」では、支援を必要とする方や住民同士の支え合いの状況などを把握することができ、市内の一部地域で実施したところ「地域の様々な問題に気づき、お互い



マップづくりの様子

に情報を共有し、共通意識を持つことで交流が活発化した。「新たな活動（食事支援、サロン活動）が展開され、地域のつながりやまとまりを再確認できた。」などの意見が聞かれ好評です。

本会では、どのように進めていったらよいか、どのように地域住民に周知すればいいのか、更新作業はどうすればよいか、必要なものは何かなど、マップを作成するうえでの困りごと・ご相談に応じてサポートいたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

熊本地震災災害義援金お礼

日本赤十字社では、熊本県、大分県を中心に相次ぎ発生した地震により被災された方々を支援するため、義援金を受付けておりますが多くの方にご協力いただき感謝申し上げます。

今回は六月十一日から九月三十日に受付分の中でも多額（五千円以上）の義援金にご協力いただき掲載の了解がとれた

方のご芳名をご紹介申し上げます。なお、現在は熊本地震災災害義援金、台風10号等災害義援金、東日本大震災義援金、イタリア中部地震義援金、中東人道危機救援金の受付を行っていますので、引き続きご協力をお願いいたします。

（順不同・敬称略）

- 出水中央高等学校PTA ○ 下水流保育園職員 ○ 下水流福祉会 ○ 出水市建友会
- ホテルウイング ○ (株)アーステクノ ○ 宇都忠良 ○ とりあえずビール
- アマチュア・ミュージック・フェスティバルinいずみ実行委員会
- アマチュア・ミュージック・フェスティバル御来場者

社会福祉士現場実習を終えて

鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科三年生の
住田和紀さんが一か月間の実習に來られました。



私は、八月八日から九月七日までの約一か月間、出水市社会福祉協議会で実習させていただきました。最初の頃は緊張が全然とれず、社協の関連施設に訪問させていただいた時も緊張がおさまらなくて自分から地域の方々に話すことがあまりできなかったのをよく覚えております。後半になると実習先にも慣れてきて自分から積極的に話して地域の方々の考えや悩みを知ることができました。出水市社協の実習では地域の方々と社協、そして社協に関連する施設のつながりの深さやどのようにして出水市社協が出水の地域を支えているのか学ばせてもらいました。実習を一か月間させてもらって自分に足りない部分を知ることができたので、残りの大学生活をここでの経験を生かして過ごしていきたいと思っております。一か月間本当にありがとうございました。

